

株主メモ

事業年度	4月1日～翌年3月31日
剰余金の配当基準日	期末配当金3月31日 中間配当金9月30日
定時株主総会	毎年6月
単元株式数	100株
株主名簿管理人	東京都中央区八重洲一丁目2番1号 みずほ信託銀行株式会社

	証券会社等に口座をお持ちの場合	証券会社等に口座をお持ちでない場合(特別口座の場合)
郵送物送付先	お取引の証券会社等になります。	〒168-8507 東京都杉並区和泉2-8-4 みずほ信託銀行株式会社 証券代行部
電話お問合せ先		フリーダイヤル 0120-288-324 (土・日・祝日を除く 9:00～17:00)
各種手続お取扱店 (住所変更、株主配当金受取り方法の変更等)		みずほ証券 本店および全国各支店 プラネットブース(みずほ銀行内の店舗)でもお取扱いいたします。 みずほ信託銀行 本店および全国各支店(※) (※)トラストラウンジではお取扱できませんのでご了承ください。
未払配当金のお支払	みずほ信託銀行(※)およびみずほ銀行の本店および全国各支店(みずほ証券では取次のみとなります) (※)トラストラウンジではお取扱できませんのでご了承ください。	
ご注意	支払明細発行については、右の「特別口座の場合」の郵送物送付先・電話お問合せ先・各種手続お取扱店をご利用ください。	特別口座では、単元未満株式の買取・買増以外の株式売買はできません。証券会社等に口座を開設し、株式の振替手続を行っていただく必要があります。

公 告 方 法 電子公告 (<https://www.musashinet.co.jp/koukoku/>)
ただし、やむを得ない事由によっては、電子公告による公告をすることができない場合には、日本経済新聞に掲載して行います。

上場株式配当等の支払に関する通知書について

お支払する配当金については、株主様に支払配当金額や源泉徴収税額等を記載した支払通知書を通知することとなっております。つきましては、支払通知書の法定要件を満たした配当金計算書を同封しておりますので、令和元年の確定申告の添付書類としてご使用ください。

なお、配当金を株式数比例配分方式によりお受け取りの場合、源泉徴収税額の計算は証券会社等にて行われますので、令和元年の確定申告の添付書類としてご使用になる支払通知書につきましては、お取引の証券会社等へご確認ください。

株式
会社 **ムサシ**

本社：〒104-0061 東京都中央区銀座八丁目20番36号

TEL.03-3546-7711

<https://www.musashinet.co.jp/>

株式
会社 **ムサシ**
証券コード：7521



代表取締役社長
羽鳥 雅孝

株主の皆様におかれましては、日頃より格別のご高配を賜り厚く御礼申し上げます。ここに第98期年次報告書をお届けするにあたり、ひとことご挨拶申し上げます。

業績の概要

当社グループでは、文書のデジタル化事業や印刷機材、及び貨幣処理機器やセキュリティ機器、紙・紙加工品などの販売に注力するほか、全国の地方選挙向け機材の販売に積極的に取り組んでまいりました。

この結果、当期の連結業績は、売上高371億35百万円(前年同期比0.4%減)、営業利益3億6百万円(前年同期比68.0%減)、経常利益3億87百万円(前年同期比63.5%減)、親会社株主に帰属する当期純利益1億83百万円(前年同期比75.3%減)となりました。

対処すべき課題

当社グループは、情報システム機材分野の文書デジタル化事業において、関連グループ会社と連携し案件ごとの採算性を注視しながら、国内最大のイメージングセンターを活用した高い生産性や万全なセキュリティ体制など、当社グループ事業の特長を活かした電子化サービスの提案を行い、民間企業からの受注拡大と官公庁・自治体を中心とする大型案件の受注獲得に取り組んでまいります。

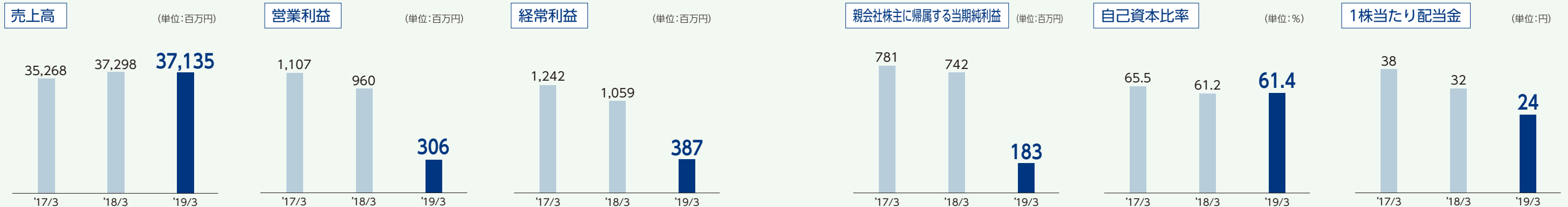
印刷システム機材分野では、収益性の改善を図るため、レーザー加工機などの印刷後加工分野の機器や、自社開発ソフトウェアの拡販に注力するとともに、小ロットのデジタル印刷が進むシール・ラベル市場での販路拡大を進めてまいります。また、無処理型印刷材料の普及にも取り組んでまいります。

金融汎用システム機材分野では、金融機関における内部管理強化や事務効率化に対する課題を的確に把握し、その解決に向けた機器やシステムの開発を推進する提案型の営業に注力してまいります。

選挙システム機材分野では、国政選挙の有無にかかわらず安定した業績を確保するため、地方選挙での事務効率化機器の導入促進に注力するほか、選挙の業務管理システムの拡販に取り組んでまいります。

紙・紙加工品分野では、需要減少が続く印刷用紙の販売については、採算性重視の選別受注と物流費等のコスト削減をすすめ収益性の改善に取り組む一方、堅調な需要と安定的な収益が見込める紙器用板紙の拡販に注力してまいります。

財務ハイライト



暮らしの中の身近なところで、ムサシの商品やサービスが皆さまのお役に立っています

情報・産業システム機材

主な販売先

- 官公庁・自治体
- 企業・金融機関
- 学校・図書館
- 非破壊検査業



ドキュメントスキャナー

文書やマイクロフィルムのデジタル化、マイクロフィルム撮影などの総合的なメディアコンパートサービスをご提供。産業用非破壊検査機材やマイクロフィルタ、社会インフラ画像診断サービスのご提供。

印刷システム機材

主な販売先

- 印刷会社
- 文具・印章店
- 企業



CTPシステム

デジタルプリプレスシステムやPODシステム、印刷材料等を富士フィルムの特約店としてご提供。レーザー加工機等の印刷後加工機器や名刺印刷システムをご提供。

金融汎用システム機材

主な販売先

- 金融機関
- 流通業
- 宅配業・交通業・公営競技場
- アミューズメント



紙幣整理機

出納や売上金精算など現金処理業務の効率化を図る貨幣処理機器や、鍵・IDカード等の管理業務を強化するセキュリティ機器をご提供。

選挙システム機材

主な販売先

- 自治体



投票用紙
読取分類機

投票用紙読取分類機・交付機等の機器や、開く投票用紙など投票事務の効率化機材、投票箱、業務管理システム、告知啓発用品などをご提供。

紙・紙加工品

主な販売先

- 印刷会社
- 紙器業
- 出版社



様々な分野で使用される紙や、付加価値の高い特殊紙、パッケージなどの紙器用板紙をご提供。

不動産賃貸・リース事業等

主な販売先

- ムサシグループ
- 企業



不動産の賃貸・運用。オートリースや各種保険サービスをご提供。

選挙システム機材

投票用紙の交付ミスを防止 投票用紙自動交付機

『テラックBA-10』を新発売

2019年は4月の統一地方選挙に続いて、7月には参議院選挙が行われる大型選挙イヤー。ムサシは投票用紙の色を判別することで、投票所の係員が間違った用紙を投票者に渡してしまう「取違い交付」を未然に防止する画期的な新製品を発売しました。

投票用紙の色は6色あり、たとえば参議院選挙では「選挙区選挙」と「比例代表選挙」の種類毎に色が定められています。『テラックBA-10』は、独自開発の高感度カラーセンサーで設定した色以外の用紙を検知すると、動作停止やエラーメッセージなどで交付ミスを未然に防ぎ、正しい用紙のみを1枚ずつ確実に交付します。

万が一、間違った用紙で投票すると、開票集計時に「無効票」として扱われ票数に反映されなくなります。ムサシは『テラックBA-10』を各投票所に導入することで、投票用紙の交付ミスを防ぎ、正確・迅速で安全な投票事務を実現する新たな提案を、全国の自治体に展開しています。

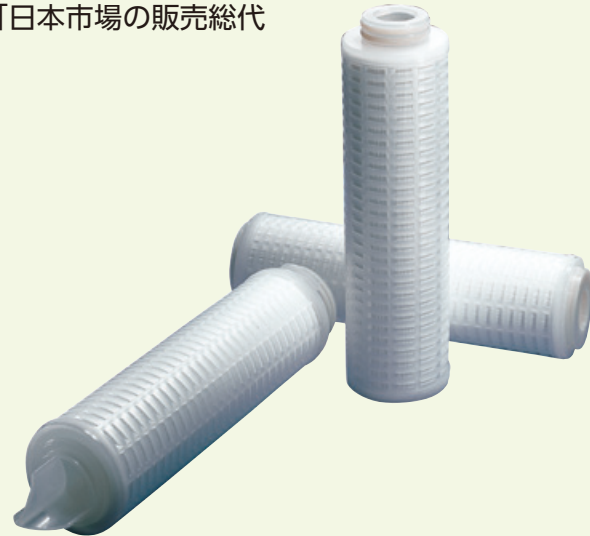


「マイクロフィルター」を販売総代理店として展開

ムサシは、富士フィルムの独自技術で開発されたカートリッジタイプのろ過フィルター「マイクロフィルター」を、2018年から「日本市場の販売総代理店」として全国展開し実績を伸ばしています。

この商品は、水などの液体やエアメントなどの気体を「ろ過」することで、マイクロメートル単位の微粒子や微生物を分離・除去する業務用フィルターです。優れたろ過機能のほか「ロングライフ」で、次に交換するまでの期間が長いという大きな特長を持ち、フィルター交換時に避けることのできない「生産設備の稼働中断」を最小限に抑えます。

これからも、食品や飲料メーカー、半導体等の精密電子部品メーカーなど「B to B市場」の幅広い分野の生産工程で「マイクロフィルター」が導入されるよう市場シェアの拡大を図ってまいります。



「社会インフラ画像診断サービス」取扱いを開始

ひびみっけ

ムサシは、富士フィルムの画像解析技術を活用し、橋梁などコンクリート構造物の「ひび割れ」を写真画像から自動検出することで、点検業務を大幅に効率化する、社会インフラ画像診断サービス「ひびみっけ」の取り扱いを始めました。

「ひびみっけ」は、富士フィルムが医療用画像診断システムで培った、高度な「画像解析技術」を用いて開発した画像診断サービス。AIを活用した画像解析などにより、人手による従来の点検業務に比べて作業時間を半分程度に短縮します。

ムサシは富士フィルムが製造する工業検査分野の非破壊検査機材を長年にわたり販売してきました。

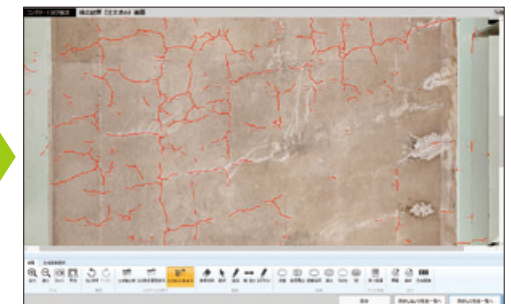
また、インフラ点検の発注者である自治体は「選挙機材」など当社の顧客でもあるため、これからムサシは「社会インフラの長寿命化」に貢献してまいります。



1. 写真を撮る



2. クラウドにアップロード

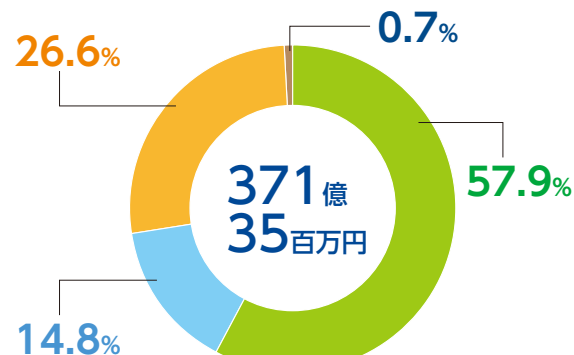


3. 画像を自動合成し、ひびを自動検出

売上高 371億35百万円

(2019年3月期)

売上高構成比



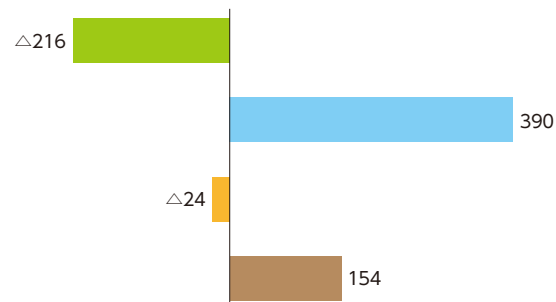
■ 情報・印刷・産業システム機材 ■ 金融汎用・選挙システム機材 ■ 紙・紙加工品 ■ 不動産賃貸・リース事業等

営業利益 3億6百万円

(2019年3月期)

セグメント別営業利益

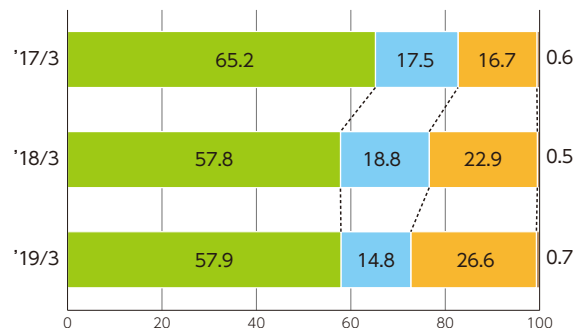
(単位:百万円)



■ 情報・印刷・産業システム機材 ■ 金融汎用・選挙システム機材 ■ 紙・紙加工品 ■ 不動産賃貸・リース事業等

売上高構成比の推移

(単位:%)



もっと詳しく知りたい方は

<https://www.musashinet.co.jp/ir/financialdata/index.html>

から業績ハイライトページをご覧ください。

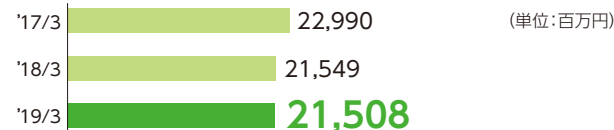
ムサシ 業績ハイライト



情報・印刷・産業システム機材



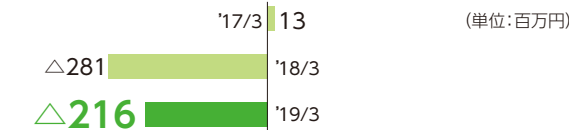
売上高 215億8百万円



情報・産業システム機材は、スキャナー等の電子化機器の販売が落ち込んだほか、文書のデジタル化事業において官公庁・自治体からの大型案件の減少により受注が低調に推移しましたが、マイクロフィルタなどの高性能材料や工業用検査機器の販売が伸びたため、前年実績を若干上回りました。

印刷システム機材は、レーザー加工機などの印刷後加工分野の機器販売は伸びましたが、主力の印刷機器及び印刷材料の販売が需要低迷により落ち込み、前年実績を若干下回りました。

営業利益 △2億16百万円

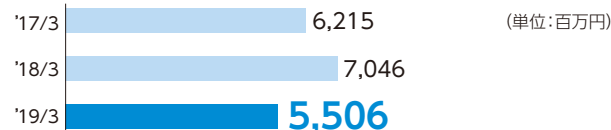


以上の結果、売上高は215億8百万円(前年同期比0.2%減)となり、利益面では印刷システム機材分野の利益率低下が影響したため、2億16百万円の営業損失(前年同期は営業損失2億81百万円)となりました。

金融汎用・選挙システム機材



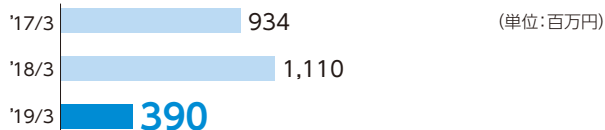
売上高 **55億6百万円**



金融汎用システム機材は、金融機関向け貨幣処理機器の更新が進んだほか、インバウンド需要により外貨処理システムの販売が堅調に推移しましたが、金融機関の設備投資抑制の影響でセキュリティ機器の販売が落ち込んだため前年実績を下回りました。

選挙システム機材は、全国の地方選挙及び4月の統一地方選挙向けに投票用紙交付機や計数機などの機器やシステムの販売が好調に推移しましたが、前年に実施された衆議院選挙向け需要の反動減の影響

営業利益 **3億90百万円**

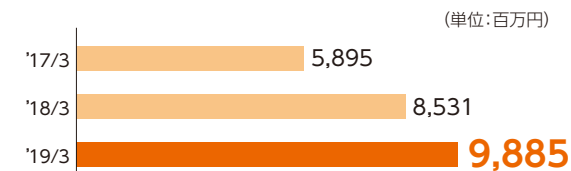


が大きく前年実績を下回りました。

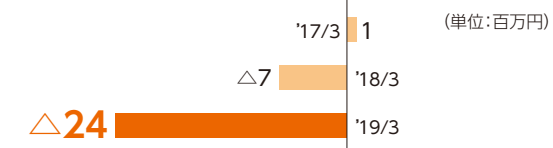
以上の結果、売上高は55億6百万円(前年同期比21.9%減)となり、営業利益は3億90百万円(前年同期比64.8%減)となりました。

紙・紙加工品

売上高 **98億85百万円**



営業利益 **△24百万円**



紙・紙加工品は、医薬品や化粧品向け紙器用板紙の販売は伸長しましたが、感光材料向け特殊包装紙の販売が需要減少の影響により低迷しました。また、感圧紙等の販売は概ね順調に推移しました。

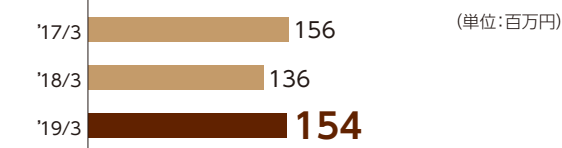
この結果、売上高は98億85百万円(前年同期比15.9%増)と前年実績を上回りましたが、利益面については「のれん」の償却負担もあり24百万円の営業損失(前年同期は営業損失7百万円)となりました。

不動産賃貸・リース事業等

売上高 **5億15百万円**



営業利益 **1億54百万円**



不動産賃貸・リース事業等の業績は概ね堅調に推移し、売上高は5億15百万円(前年同期比6.1%増)、営業利益は1億54百万円(前年同期比13.3%増)となりました。

連結貸借対照表

(単位:百万円未満切捨て)

科目	第98期 2019年3月31日現在	第97期 2018年3月31日現在
(資産の部)		
1 流動資産	34,279	34,354
2 固定資産	9,931	10,470
有形固定資産	3,216	3,263
無形固定資産	408	477
投資その他の資産	6,307	6,728
資産合計	44,211	44,825
(負債の部)		
3 流動負債	14,600	15,041
4 固定負債	2,457	2,343
負債合計	17,058	17,384
(純資産の部)		
株主資本	26,827	26,882
その他の包括利益累計額	325	558
5 純資産合計	27,153	27,440
負債・純資産合計	44,211	44,825

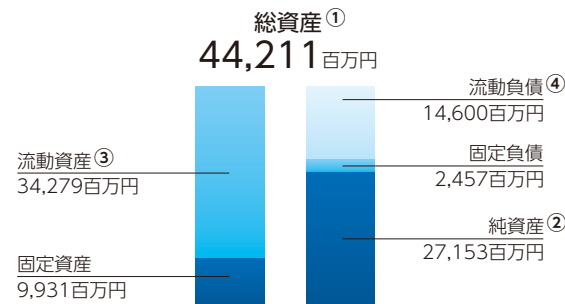
当期末総資産

自己資本比率(財務の健全性)
=②÷①×100

61.4%

流動比率(短期の支払能力)
=③÷④×100

234.8%



ポイント

資産

1 流動資産

- 減少の主要因
 - ・現金及び預金の減少(9億17百万円)
- 増加の主要因
 - ・受取手形及び売掛金の増加(7億41百万円)
 - ・棚卸資産の増加(91百万円)

2 固定資産

- 減少の主要因
 - ・投資有価証券の減少(4億32百万円)
 - ・減価償却等による有形固定資産の減少(47百万円)
 - ・のれんの減少(79百万円)

負債

3 流動負債

- 減少の主要因
 - ・仕入債務の減少(46百万円)
 - ・未払法人税等の減少(2億9百万円)
 - ・流動負債の「その他」の減少(1億76百万円)

4 固定負債

- 増加の主要因
 - ・役員退職慰労引当金の増加(1億10百万円)

純資産

5 純資産

- 減少の主要因
 - ・剰余金の配当(2億38百万円)
 - ・その他の包括利益の減少(2億32百万円)
- 増加の主要因
 - ・親会社株主に帰属する当期純利益(1億83百万円)

連結損益計算書

(単位:百万円未満切捨て)

科目	第98期 2018年4月1日から 2019年3月31日まで	第97期 2017年4月1日から 2018年3月31日まで
売上高	37,135	37,298
売上原価	29,309	29,132
売上総利益	7,826	8,165
販売費及び一般管理費	7,519	7,205
営業利益	306	960
営業外収益	116	146
営業外費用	36	46
経常利益	387	1,059
特別利益	111	180
特別損失	16	-
税金等調整前当期純利益	482	1,240
法人税、住民税及び事業税	216	497
法人税等調整額	83	1
当期純利益	183	742
親会社株主に帰属する当期純利益	183	742

連結キャッシュ・フロー計算書

(単位:百万円未満切捨て)

科目	第98期 2018年4月1日から 2019年3月31日まで	第97期 2017年4月1日から 2018年3月31日まで
6 営業活動によるキャッシュ・フロー	△585	2,367
7 投資活動によるキャッシュ・フロー	△93	△2,078
8 財務活動によるキャッシュ・フロー	△238	△239
現金及び現金同等物に係る換算差額	△0	0
現金及び現金同等物の増減額(△は減少)	△917	50
現金及び現金同等物の期首残高	18,775	18,725
現金及び現金同等物の期末残高	17,857	18,775

ホームページでさらに詳しい情報をご覧ください。

<https://www.musashinet.co.jp/>

当社ホームページ「IR情報」では、決算説明会資料などのIR関連情報をタイムリーに載せております。



IR情報トップページ

業績ハイライトや、過年度の決算短信、年次報告書など様々なIR情報をご覧ください。最新の株価なども確認いただけます。

より使いやすいサイトを目指してまいります。

ポイント

6 営業活動によるキャッシュ・フロー

- 収入の主要因
 - ・税金等調整前当期純利益 4億82百万円
 - ・減価償却費 3億32百万円
 - ・役員退職慰労引当金の増加 1億10百万円

- 支出の主要因
 - ・売上債権の増加 7億41百万円
 - ・その他流動負債の減少 2億31百万円
 - ・法人税等の支払額 4億97百万円

7 投資活動によるキャッシュ・フロー

- 収入の主要因
 - ・投資有価証券の売却等による収入 2億76百万円
- 支出の主要因
 - ・固定資産の取得等による支出 2億82百万円

8 財務活動によるキャッシュ・フロー

- 支出の主要因
 - ・配当金の支払 2億38百万円

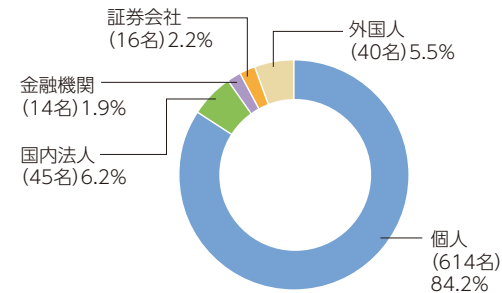
発行可能株式総数 28,920,000株
 発行済株式の総数 7,950,000株
 株主数 729名

大株主

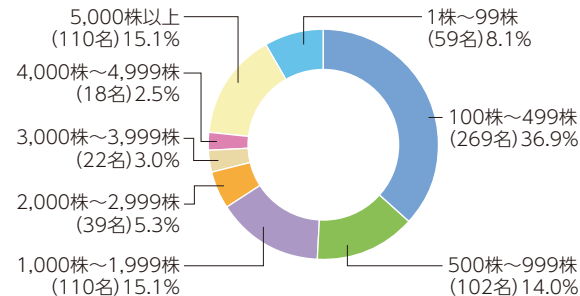
株主名	持株数	持株比率
上毛実業株式会社	1,388 千株	18.7%
ショウリン商事株式会社	897	12.1
株式会社光通信	583	7.8
ムサシ社員持株会	436	5.9
株式会社みずほ銀行	360	4.8
MSCO CUSTOMER SECURITIES	307	4.1
ムサシ互助会	299	4.0
日本トラスティ・サービス信託銀行(株)信託口	278	3.7
小林厚一	237	3.2
株式会社三井住友銀行	190	2.6
羽鳥雅孝	137	1.8

(注) 持株数は、千株未満を切り捨てて表示しております。
 当社は自己株式506千株を保有しておりますが、上記の大株主から除いております。持株比率は自己株式を控除して計算しております。

株式の所有者別状況(株主数)



株式の所有株数別状況(株主数)



IRカレンダー



商号 株式会社ムサシ
 設立 1946年12月
 本社 東京都中央区銀座八丁目20番36号
 資本金 1,208,500,000円
 従業員数 連結567名/単体217名 (2019年3月末現在)

主要取引銀行 株式会社みずほ銀行
 株式会社三井住友銀行
 株式会社三菱UFJ銀行
 関係会社 武蔵エンジニアリング(株)
 ムサシ・フィールド・サポート(株)
 エム・ビー・エス(株)
 エフ・ビー・エム(株)
 (株)ムサシ・イービーシー
 ムサシ・イメージ情報(株)
 ムサシ・アイ・テクノ(株)
 武蔵興産(株)
 (株)武蔵エンタープライズ
 (株)ジェイ・アイ・エム

役員 代表取締役会長 小林 厚一
 代表取締役社長 羽鳥 雅孝
 常務取締役 村田 進
 取締役 浅川 正仁
 取締役 新妻 一俊
 取締役 廻 真一郎
 取締役 小林 佳典
 取締役 小野 貢市
 取締役 五島 真一
 取締役 山本 義明
 取締役 小林 将治
 取締役 羽鳥 智紀
 社外取締役 高原 巨章
 常勤監査役 中川 裕務
 常勤監査役 山村 隆
 社外監査役 安藤 信彦
 社外監査役 浅野 修一

事業所

- ▶ 本社
- ▶ 東京第一支店・東京第二支店
- ▶ 紙・紙加工事業部・海外営業部
東京都中央区銀座八丁目20番36号
- ▶ 札幌支店
札幌市北区北十二条西三丁目1番15号
- ▶ 仙台支店
仙台市青葉区本町一丁目11番2号
- ▶ 北関東支店
さいたま市大宮区土手町一丁目2番地
- ▶ 東関東支店
千葉市中央区新町18番地10
- ▶ 神静支店
横浜市西区北幸二丁目8番4号
- ▶ 名古屋支店
名古屋市中区栄四丁目14番2号
- ▶ 大阪支店
東大阪市長田中三丁目6番1号
- ▶ 中四国支店
広島市中区本川町二丁目6番11号
- ▶ 福岡支店
福岡市博多区店屋町6番25号
- ▶ 新潟営業所
- ▶ 茨城営業所
- ▶ 静岡営業所
- ▶ 浜松営業所
- ▶ 北陸営業所
- ▶ 岡山営業所
- ▶ 高松営業所

